

令和8年度 園経営計画 足立区立上沼田保育園

園長 梶原 里美

1 園の経営目標

- (1) 自分で考える子ども、自分を大切にできる子ども、自分らしく表現する子どもの育成を目指し「生きる力」の基礎を培う。
- (2) 保育の専門性を高めるために自己研鑽を重ね、質の高い保育・教育を実践していく。
- (3) 保護者の子育て支援を行うと共に、地域の子育て支援拠点としての役割を果たす。

2 園の現状

- (1) 広く恵まれた園庭に朝早くから飛び出し、子どもたちは全身を使って伸び伸びと遊んでいる。裏手にある「むしはな広場」では一年中、虫探しや泥団子づくりに夢中になっている。
- (2) 園内にはいくつもの絵本コーナーがあり、それぞれの場所で絵本に親しむことができる。週に2回開館する「ぬうちゃん図書館」では親子が集い絵本との触れ合いを楽しんでいる。
- (3) 職員は、子どもの思いや気持ちを大切に保育をすすめ、各家庭の子育て支援に努めている。

3 今年度の重点的項目

重点的に取り組んでいきたい事項-1	子どもが感じ、考え、工夫して遊べる環境をつくる。
具体的な取り組み	
項目	具体的な内容
(1) 遊びたくなる自然環境をつくる。	ア 園内研修のテーマとして取り上げ、講師の指導・助言を受け「むしはな広場」の改造を行う。(通年) イ 保護者への発信も継続的に行い、親子で興味・関心が深まるような取り組みにつなげていく。
(2) 遊び心をもって一緒に楽しむ。	ア 子どもの興味・関心を捉え環境に必要なものを準備する。 イ 子どもと一緒に面白がり、夢を語り合いながら遊ぶ。
重点的に取り組んでいきたい事項-2	読書活動、音楽活動を通して、豊かな感性と表現力を育む。
具体的な取り組み	
項目	具体的な内容
(1) 音の美しさや楽しさに触れ、心弾ませる体験を重ねていく。	ア 音楽隊の活動を定例化し、子どもたちと一緒に音に触れたり、音楽遊びを楽しんだりする機会をもつ。 イ 楽器コーナーを年間通して設置し、いつでも音楽を楽しむ自由に表現できるようにしていく。
(2) 本との出会いの中で言葉や表現の面白さや不思議さに触れる。	ア ぬうちゃん図書館を日中の保育でも活用し、子どもたちが様々な本と触れ合える場所にしていく。 イ 絵本の読み聞かせを継続する中で、子どもの感じていることに心を寄せたり思いを伝え合ったりしていく。
重点的に取り組んでいきたい事項-3	子ども理解を深め、保育の専門性を高める。
具体的な取り組み	
項目	具体的な内容
(1) 柔軟性のある保育をすすめる。	ア 子どもの思いを大切に「できない」ではなく「できるようにするためには」という視点で工夫して実践する。 イ ルールにとらわれず子どもの発想を面白がっていく。
(2) 同僚性を高める。	ア 保育者同士が互いの保育を理解し合えるよう、子どもの姿を通して語り合う時間をつくる。(毎月) イ コミュニケーションの活性化を図るため、言葉による伝え合いを意識していく。